

OSK 97NTC200 TOC 全有機炭素測定装置

97NTC200 TOC 全有機炭素測定装置は、燃焼酸化NDIR検出方式を採用したタイプで、一般的に水質汚染や下水排水等の高濃度の有機体を検出し、モニタリングするのに適し



OSK 97NTC 200

特徴

●安全

自動漏れチェックシステムにより、操作ミスを回避し、機器のパフォーマンスを向上させ、操作の安全性を確保します。

●豊富な温度設定

様々なサンプリングに応じた温度設定により、より正確な測定データの取得を可能にし、完全なサンプル分解を保証します。

●自動漏れチェックシステム

サンプリング量に応じて冷却モジュールの電力を調整します。これにより、乾燥性能が向上し、検出器に乾燥ガスが確実に流入するシステムとなっております。

●オートサンプラーを使って効率アップ

オプションのオートサンプラーを使えば、効率よくさまざまなサンプルをテストする事が可能です

標準付属品

TOC分析装置、吸収ボトル組み立て、廃液タンク組立て、標準触媒、ガス管、ゴムホース、ステンレスチューブ、

白金アルミ触媒、接続パイプA、石英プレート、クォーツウール(0.5g)、ハロゲンコンプリメンタリー(0.4m)、石英綿(5g)、ドレンチューブ(1.5m)、液面、イッチの接続ワイヤー、レベルスイッチ、スクラバーA、燃焼管B、電源ケーブル(1.8m)、USBケーブル(2m)、L型フェルール継手(φ8-φ8)、酸素レギュレーター(メートル)(YQJ-5)、サンプルボトル (125mL)、酸ボトル(250mL)、フィルター(φ

仕様

型番	OSK 97NTC 200
検出方法	燃焼酸化NDIR検出
測定項目	TC, TIC, TOC, NPOC
測定モード	PC制御
アプリケーション	液体
測定範囲	0~1000mg/L、手動希釈により50,000mg/Lまで拡張可能
検出限界	TC: 50μg/L (標準的な触媒) TC: 100μg/L (白金アルミナ触媒) IC: 20μg/L
測定時間	TC: 約4分、IC: 約3分
最大許容誤差	TOC: ± 5%、IC: ± 4%
再現性	≤3%
射出量	TC: 100-500μL、IC: 100-2,000μL
環境温度	温度: 5-35℃、湿度: ≤ 80% RH、凝縮無し
最大塩分濃度	85g/l
電源要件	AC 220V/AC 110V (±10%)、50/60Hz、7A、<700W
寸法	幅 450 x 奥行 631 x 高さ 478mm
重量	< 45kg

OSK オガワ精機株式会社

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-2-9

TEL : 03-3200-0234, FAX : 03-3200-0373

Email : osk.domestic2@dune.ocn.ne.jp

Ver. 1.2 2023/11/28